

●第15回親子花見乗船体験用の乗降船場実現する 3月25日 9:30～

13:30 9人が頑張る 翌日の日曜日は雨天の予報だったので、午前中に出来上がりました。昨年は土地改良区の配慮でいち早く貯水が進められたので、乗降場の設置の時には川が満水でしたので川底に足場を固定する作業で大変苦勞しました。今年は乗降場が完成したのちに貯水をお願いしておきましたので川に入って作業ができたのでスムーズに出来上がりました。また今年は手すりを直角クランプで固定したので、とてもしっかりしたものになり、安全度はアップしたように思います。現在申込者は定員100名で締め切りましたのでゆっくり楽しんでいただけるのではないのでしょうか。桜も何とか満開状態を継続してくれたらと希望するところです。



●京都府川の協力団体申請「山城うるおい水辺パートナーシップ事業協力団体」認証され、早速馬坂川のごみ拾い実施 3月25日



これまで馬坂川での楽しみの一つとされてきた「親子花見乗船体験」のために馬坂川のごみ拾いを継続して来ましたが、随分とマナーが引き上げられてきたように見えてきましたが、今年のごみ拾いでは、大型ごみは減少していましたが買い物袋やペットボトルや空き缶などが随分と集まりゴミ袋5杯になりました。川の草も刈取り、カヌーやEボートがスムーズに行き来できるようになりました。ごみ拾いの中でニホンイシガメが捕獲出来ました。最近、少なくなっている亀です。小魚も見つかりました。これからも、きれいな川にして魚が沢山生きられる美しい川になればと思います。



●理事会で来年度の取組論議進む 3月24日

出席は大村 有田 森島 播川 福井 山村6名の皆さんで夕方5時30分まで論議を続けました。特に2022年度の振り返りに熱が入りました。特に昆虫観察会では昨年はカブトムシが30匹、今年はノコギリクワガタが90匹も捕獲されたことから里山農園付近はこうした昆虫の生息場所に適しているのではないだろうかといった評価がありました。その一方オオムラサキの幼虫や成体が見つけられないのは樹液を出す樹木が減少してきているのではないだろうかといった心配する声もありました。溶存酸素測定器の購入で山の清水の度合いを測定してみたいと思っています。サンショウウオの生育環境などのためにこうした科学的な調査も必要ではないのでしょうか。3年前の台風で倒された巨木が放置され、良いねぐらになってきているのでしょうか。

●自然環境保全京都ネットワーク年度総会成功する

活動報告（京田辺市のサンショウウオの生息地調査、京都市雲ヶ畑の水田調査）そして静岡県立ふじのくにミュージアム視察報告がされ、京都生物多様性センタ



一が府市協調で設立された報告がありました。そして竹門先生から「伝統的河川工法による河川環境改善効果」として竹蛇籠や中聖牛のお話がされました。これまで6年間の活動を歩んで府市協調して生物多様性センターが発足し、発展できるところまでできました。念願の府立の博物館実現のための小さくて少しの一步に行政がわずかに動き出しました。この動きを継続するための奮闘を誓い合う場になりました。



●炭焼き体験 窯開き 3月30日

13:30 出来具合を確かめる 昨年の大失敗で今年は植西さんのご指導を得て行った炭焼について、これで二週間が経過したので3月30日に炭焼き窯の取り出し口から出来栄を覗くことにしました。素晴らしい木炭が沢山出来上がっていることが確認出来ましたら改めて窯出し作業日をお知らせします。ご期待ください。

●春の野草を食する会 4月8日(土)

9:30 分からは親子花見乗船体験が終わるといよいよ春の予想がしっかりと芽吹きだします。その元気を味わってみる取組として里山の会の代表的なイベントが「春の野草を味わう会」です。昨年はコロナの中でも52名もの皆様のご参加があって大盛況でした。準備してきた天ぷら油が不足する事態になってしまい、随分不自由をおかけしてしまうことになって申し訳なく思っています。今年はどうした不具合が発生しないよう準備したいと思っています。新しい取組として午後は里山農園でジャガイモの植付けを参加者全員で行ないたいと用意をしています。芽が出て綺麗な花が咲いて立派なイモができるでしょうか。そして雑草が生えて養分を吸い取られないように草引きなどの手入れが大切です。

●冬野菜の壬生菜が大きく育っていたので、引き抜いて処分するのももったいないので、森島さんは市内の漬物工場に掛け合って、漬物に使っていただけないだろうかと相談しました。さっそく地元の生産野菜だからと快く引き受けていたことができて、先日花見乗船の準備に来ていただいた皆さんで出来立ての漬物をおいしく食していただきました。

春の野草を食する会 参加者募集

新年度もコロナウイルスの感染予防を考えながら各種の取組みを進めなければならないでしょうね。食する会は屋外での取組みなので取り組みやすいものでしょうが十分注視しながら取り組みます。果ごもりが根づいて辛いとき、思い切って里山農園委お越しください。同志社大学のサッカー部が草刈りをボランティアで刈り取ってくれた丸山に登って思い切り胸を張ってみてください。そして元気いっぱい若芽を食してやる気を起こしましょう。皆様のお越しをお待ちしています。

日時 4月8日(土) 10時~12時30分
場所 京田辺市普賢寺水取 里山農園
普賢寺小学校から南へ500m府道沿い 駐車場有
募集人数 先着50人〔幼小参加可能 保護者とともに〕
参加費 大人500円(子ども無料)
申込み方法 里山の会 ホームページ 住所 氏名 年齢 電話
tddbw257@yahoo.co.jp
内容 春の野草摘み 野草の天ぷらあげ 焼き芋作り 野草の味噌和え作り
あの花なかに(付近の野草観察) 生き物調べ 白土山探検
春の野菜手入れ ジャがいも植付 その他

プログラム

お話し 春の野草のお話 里山農園の1年の取組紹介 里山農園の自然の特徴
お喋り こんな事やってみたあいなあ

野草を摘んできて 天ぷら作り 和え物作り 食します

